

2025年 学校説明会&イベント

学校説明会

- 第4回 7月19日(土) 9:00～
同時開催 IBサイエンス体験
- 第5回 8月30日(土) 9:00～
同時開催 「第1回 腕だめしテスト」
- 第6回 9月20日(土) 10:00～
- 第7回 10月12日(日) 9:00～
同時開催 「第2回 腕だめしテスト」
- 第8回 11月 8日(土) 10:00～
- 第9回 12月13日(土) 10:00～
説明会の中で「入試直前対策」を実施します

体験プログラム ※保護者様は同時開催の学校説明会に参加できます

IBサイエンス体験 対象:小学生

7月19日(土) 9:00～12:00

腕だめしテスト 対象:小6

- 第1回 8月30日(土) [2科]国・算 9:00～11:00
[4科]国・算・理・社 9:00～12:00
- 第2回 10月12日(日) [2科]国・算 9:00～11:00
[4科]国・算・理・社 9:00～12:00

アクセス

東武日光線 杉戸高野台駅 西口から

- 徒歩15分
- スクールバス5分

JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅 東口から

- スクールバス10分
- 自転車15分
- 路線バス5分 吉羽大橋バス停下車徒歩8分

東武伊勢崎線 和戸駅 から

- 自転車8分



手をかけ 鍛えて 送り出す

昌平中学校

2026年度から 2学期制導入!

SHOHEI
JUNIOR HIGH SCHOOL
SCHOOL GUIDE 2026



「好きのチカラ」

子どもたち一人ひとりの未来の姿の原形は、中高 6 年の間に確実に形づくられ彩りを得ます。

夢を探究する力や、国際性を備えた信念をもつ若者を土台から育てていきたい。

主体的に学び、考え、表現できる大人へと成長する姿を見守りたい。

それが昌平の中高一貫教育にかける想いです。

好きだから、楽しい。

好きだから、がんばれる。

SHOHEI Borderless Program

「国境」を越え、「教科」の枠を越え、「学校」と「地域」の枠を越えた学びによって、真のグローバル人材を育成します。

IB International
Baccalaureate P. 3

PEP Power English
Project P. 7

SDGs Sustainable
Development Goals P. 11

環境 学習室と
サポート体制 P. 15

合格 令和 7 年 大学合格実績 P. 16





世界基準のプログラムを採用 ～変わり続ける社会で活躍するために～

IBは、国際バカロレア機構(本部：スイス、ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムです。昌平中学校は、2015年3月1日にMYP(中等教育プログラム)の候補校になり、以降2年間をかけて研修、授業実践等を行ってきました。これらの取り組みが、IB機構による厳格な審査により認められた結果、本校は2017年3月17日よりMYPの認定校になりました。昌平中学校では1年生から3年生の全員を対象に、MYPの授業を日本語で行っています。また、2020年度には高等学校でも、DP(ディプロマ・プログラム)の授業を開始しました。



IBの理念

IBの理念は次の「IBの使命」、
「IBの学習者像」によって明確化されています

① IBの使命：IBの目的を示しています。

国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

② IBの学習者像：IBの使命を具体的に人物像として示しています。

グローバル化が進むなか、10年後には国境を越えて人々が移動し、さまざまな価値観が飛び交う環境の下で、わたしたちは暮らしているでしょう。どんな時代であっても、生涯一学習者として明るく楽しく自分らしく学び進むため、規範としてとらえることができるのがIBの学習者像です。

IB授業の特色

IBの授業は調査、発表、ディスカッション等、生徒が授業の中心となるものが多いです。これによって自然に主体性が身につく、表現力やコミュニケーション能力の向上につながります。また振り返りを重視し、レポートを多く書くことにより論理的思考を獲得していきます。

Inquirers …… 探究する人
Knowledgeable …… 知識のある人
Thinkers …… 考える人
Communicators …… コミュニケーションができる人
Principled …… 信念をもつ人
Open-minded …… 心を開く人
Caring …… 思いやりのある人
Risk-takers …… 挑戦する人
Balanced …… バランスのとれた人
Reflective …… 振り返りができる人



Community Project

コミュニティ・プロジェクトとは

MYPの学習成果、奉仕活動。

MYPの生徒は、中学3年で、1年を通して適切な指導とサポートのもと、個人の興味や関心に基づき、「行動」としての奉仕活動に取り組みます。コミュニティ・プロジェクトは、次のような流れで進みます。

1. プロジェクトの目標を決め、計画する
2. 行動する
3. 行動をまとめ、発表する(卒業論文、発表会)



地元の農業を
守りたい
中3女子

過去の活動例

現高1

一貫
13期生

自然に興味のある私は多くの人に自然について知ってもらい、生物多様性に興味を持ってもらいたいと思い、コウノトリについて調べた。自然に関する活動に参加をし、デジタル絵本をつくり、コウノトリを主役としたチラシを作成しデジタル絵本に誘導した。埼玉県鴻巣市の「天空の里」と千葉県野田市の「このとりの里」で行われた自然に関するイベントに参加しチラシについて説明して配布した。今後も社会貢献をし続け、いろいろなことに挑戦をしていく人になりたい。



現高2

一貫
12期生

地域の活性化に興味のある私は、地元の野田市が『千葉県で知っている市町村』のアンケートで、取り上げられた20市町村中16位であることを知り、野田市の魅力を知ってもらうための動画作成をすることにした。野田市が応援ソングを広く知ってもらう活動を始めたタイミングだったため、PR推進室の方々や市長にとっても興味を持っていただき、協力の申し出をいただいた。その甲斐あって曲の使用許可もあり、たくさんの方の応援で無事に作成できた。



現高3

一貫
11期生

私は、映画やゲームのCGに関心がある。存在し得ない美しい映像をあたかも本当に撮影したかのように見せる技術に感心するとともに、「虚偽」を信じてしまいそうになる自分に恐怖感を覚えた。調べていくうちにインターネット上のフェイクニュースに気付くことができなかった人が多数存在し、特に新型コロナ関連の情報は若い世代が気付いていないことが分かり、イベントでパンフレットを配布し、メディアリテラシーについての知識を深めてもらう活動を行なった。



IBコース[DP]クラスの進路

高校進学時に希望によってIBコース[DP]クラスに進学することが可能です。 >>> P.13

IB[DP]クラス 1～4期生 大学合格実績 卒業生58名

国公立大
11名合格

東京外大、筑波大2、
東京学芸大2、岡山大2、
横浜市立大、大阪公立大2、秋田大

早慶上理
11名合格

早稲田大2、慶應義塾大2、
上智大7

GMARCH
35名合格

学習院大、青山学院大、
立教大16、中央大4、
法政大13

海外大学
5名合格

Acadia、Taylor's 3、
Temple Japan Campus

海外大学への進学をサポートします

高校のIBプログラムであるDP(ディプロマ・プログラム)は大学入学資格として国内・海外の大学が高く評価しています。

IBでの学びが大学から高く評価されました

本校入学後、校内スピーチコンテストで優勝し県大会に進んで銅賞を受賞することもできました。また、ネイティブスピーカーの担任の先生には、IBの最終試験に向けたレッスンにもとことん付き合ってくださいました。世界基準のプログラムを軸としたIBコースでの様々な学びが、大学入学資格として高く評価されたことが嬉しいですね。タイとカンボジアで幼少期を過ごしたのですが、将来は外交官として、諸外国との橋渡し役になりたいと考えています。



東京外国語大学 言語文化学部 里永 愛花さん

MYP生の活躍

学校推薦型選抜(旧推薦入試)で東京大学 合格をつかむまで

東京大学 理科一類 合格
矢内 大雅さん
IB(国際バカロレア) MYP1期生(一貫6期生)

生物・化学部に在籍し、「東京工業大学賞」を受賞

高校1年時に国内最大級の中高生のための学会、「サイエンスキャッスル」関東大会において「自動受粉ロボット ポリネロイド」※の研究について発表。東京工業大学賞を受賞。
将来的には、農業の人手不足と食糧問題を解決することを目指しています。
※「自動受粉ロボット ポリネロイド」は、世界的に減少傾向にあるミツバチの代替として、果実等の人工授粉を行うロボットを開発する研究です。

翌年、挑んだ「栃木テックプランター」の実績を武器に…

高校2年時に、宇都宮大学にて開催された「栃木テックプランター※」に参加。
技術と情熱を持った大人達が集まり、世の中を変える技術を本気でプレゼンしあう空間で、発表者は、大学の研究者がほとんど。矢内さんらは、高校生での唯一の発表者となり、「チームメイトそれぞれの得意分野が活かされていてすごい。」「自分たちの好きなこと、やりたい事を今後も思いっきり取り組んでほしい。」「今やっていることは本当にすごい。このまま続けていけば、大学生の研究を超えていける。」など、大学の研究者や企業、栃木県庁の方々から、高い評価を受け、たくさんのアドバイスやコメントをいただく。
そして、この研究をベースに東京大学に挑みました。
※テックプランターは、起業前の個人・ベンチャー企業を対象として、技術や情熱を持った人を発掘・育成する取り組みです。

コロナ禍で迎えた昌平祭… 実行委員長として

世界を大きく変えた新型コロナウイルス感染症。高校生活最後の昌平祭(文化祭)を盛大に盛り上げようと計画を立てていた矢先、従来の形態から大きな変更を余儀なくされました。
実行委員長として、さまざまなアイデアを出し、とりまとめ、運営の舵を取ったのも彼でした。



「サイエンスキャッスル」関東大会



栃木テックプランター



昌平祭(昌平文化ウィーク)実行委員 打ち合わせ

本校の中学2年生の時間割の例です。

の科目が IB 対象科目です。

	月	火	水	木	金	土
1 限	道徳	化学	体育	歴史	代数	特別講習
2 限	体育	幾何	地理	英会話	国語	特別講習
3 限	国語演習	英語R	生物	美術	生物	特別講習
4 限	英語G	英語G	歴史	国語演習	体育	
5 限	代数	技術・家庭	英語G	英語G	英語R	
6 限	国語		代数	幾何	LHR	
7 限		地理			化学	
8 限		音楽			幾何	

在校生の声

IB授業を本校で3年間受け、MYPを修了した生徒の声を一部紹介します

小学校の時は恥ずかしがり屋で、人前で話すのは苦手だった。クラスで何度もプレゼンテーションをすることで日本語だけでなく、英語でも人前でプレゼンテーションをできるようになった。そして、様々なことに対して、必ず自分の意見を持つようになった。その意見を交換すると友達もいろいろな意見を持っていて、しかもそれらの意見が興味深いことが多かった。

ディスカッションが多いので、いろいろな人のことやその人の立場を考えるようになった。友達に「いつも親切だよな」と言われるようになってうれしかった。その友達も自分の意見を言えるようになったし、意見を言うことは大事だとわかったと言っていた。そのような友達に親切と言われてうれしかったし、お互いに励まし合うこともうれしく感じる。



生徒の学習意欲・問題意識が劇的に高まりました

生徒たちを見ていると、以前よりもいろいろと問題意識をもって、学習に取り組んでいることがよくわかります。プレゼンにも中身があり、聞く側を惹き込む力もついてきました。IB教育の特色の一つに、多様性を認識することがありますが、日本特有の教育とIB教育の違いを自然に受け入れ、これまでにない発想をする生徒も出てきています。今後は昌平だけでなく、日本全体にIBを普及させたいとの思いでさらに尽力してまいります。

副校長 IB公認 ワークショップリーダー コンサルタント 前田 紘平先生



中学3年間を通して成長した私の力の源はIBの学びでした

中学生の時は正直、人前で話をすることが苦手でした。高校生になった今、驚いたことに大勢の前で自信をもって話をすることができる自分がいます。中学で3年間IBの授業を受け、MYPを終了した私にとって、その軌跡はまさに自身の成長といえるものです。特に身についたのは、考える力、文章を書く力、そしてコミュニケーション力です。書道が得意な私はハワイの地で、書道と英語を融合させたコミュニティ・プロジェクトに参加した経験を持っています。外国の方々に書道のすばらしさを知ってもらいたいとの一念が行動に結びつきました。必ずしも正解がないからこそ、問い続ける姿勢が必要になることも学ぶことができるIBコースです。

高校2年生(中高一貫12期生) 御代田 心七さん



PEP

Power English
Project

パワー・イングリッシュ・
プロジェクト



各種検定の取り組み

英語検定全員受験への取り組み

「中学3年で全員英検準2級以上の取得を目指す」

本校では中学・高校全体で英語検定全員受験運動を展開。全生徒が年に一度以上英検を受験する取り組みが定着しています。

「日本語禁止部屋」インターナショナル・アリーナ

本校では、日本にいながら外国空間を体験出来るインターナショナル・アリーナを設置しています。文字通り日本語禁止のこの部屋には5人の外国人教員が常駐し、英会話の授業から、放課後のESS部、英検の二次対策などを担当しています。外国人教員は一切日本語を話しません。しかし休み時間や放課後はこの部屋からたくさんの生徒たちの明るい話し声や笑い声が聞こえます。



全校生徒が英語を得意教科にする徹底的な取り組み

「全校生徒が英語を得意教科に」を合言葉に、全校生徒を対象に本校の全教職員で取り組んでいる英語力超強化プロジェクトです。英語を学ぶことは、単なる言語習得だけでなく、新しい世界への扉を開くようなものです。世界中の人と交流でき、多くの情報を得られます。また、大学入試という観点から見て、文系生徒にとっても理系生徒にとっても英語力はその明暗を分けることになります。本校では英語に興味を持たせる機会を数多く用意し、英語に積極的に関わる場面も多数作っていきます。

PEPの実践と体験プログラム

ブリティッシュヒルズ語学研修

「パスポートのいらない英国留学」英国の文化・マナーに触れながら活きた英語を学び、異文化への興味を養います。

- 希望者対象(10月実施 全学年)
- 中学1年(11月実施)
- 中学2年(7月実施)



校内英語スピーチ、 レセプションコンテスト

各学年で予選を実施し、上位者は本大会へ進みます。帰国生だけでなく、国内生もすばらしいスピーチを披露します。



TGG(体験型英語学習施設)

中2の体験型プログラムの一つとして2019年度より訪問。イングリッシュ・スピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語のコミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。



ボキャブラリーコンテスト

英語力の強化に単語力は欠かせません。本校では学年ごとの課題に合わせた英単語テストを年に3回、全校一斉に行います。それがボキャブラリーコンテストです。



修学旅行

今年度より2月にハワイで実施。IB/PEP/SDGsの集大成。自然/文化/歴史/持続可能性を英語で探究。



ハーバード・サマースクール in SHOHEI

2018年度より、ハーバード大の学生を本校に招いて英語で学ぶ、希望者対象のハーバード・サマースクールを実施します。議論や発表が中心の授業です。



English communication TEACHERS



英語科

Danielle Le Sage
ダニエル・ラ・セージ
(アメリカ出身)



数学科

英語科

Rodrigo Cunha
ホドリゴ・クンニャ
(ブラジル出身)



英語科

Adam Webb
アダム・ウェブ
(ジャマイカ出身)



英語科

Rod Caldwell
ロッド・コールドウェル
(アメリカ出身)



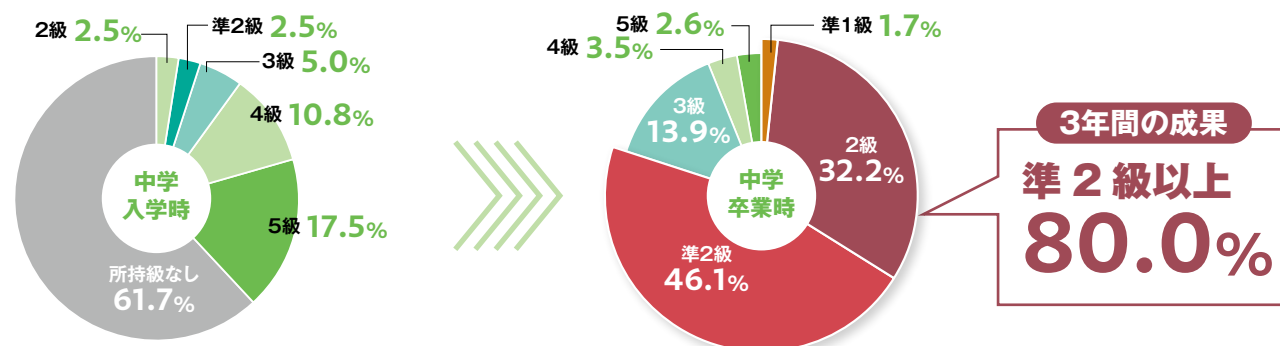
英語科

Colin Leon
コリン・レオン
(マレーシア出身)

英検取得状況

中学入学時と中学卒業時の比較 (現高1生：一貫13期生)

英検取得状況



オーストラリア スコッツ・スクールとの姉妹校提携

毎年夏休みには短期語学研修として、約2週間の日程で10日間のホームステイをしながら姉妹校の授業に参加します。また、オーストラリアの生徒も毎年来校し、本校生の家庭にホームステイをしながら、授業に参加します。英語の時間などには生きた教材として大活躍してくれそうです。

- オーストラリア語学研修 (希望者)
- オーストラリア姉妹校等への短期交換留学 (高校生希望者選抜)
- オーストラリア姉妹校生徒等のホームステイ受入 (希望者)



マレーシア語学研修

多様性を体現する多文化国家で英語の基礎力向上を目指すと同時に、大学レベルのアカデミックな英語学習を行います。マレーシアは、イギリスやオーストラリアの大学が分校を設置し、筑波大学も新たに設置する等、注目の国です。本研修は英語力向上を目指すことができるだけでなく、キャンパスツアーや授業体験を通じて海外の大学での学びに触れることができる、貴重な機会です。



受け身ではなく主体的に学んでいくグラマーの授業

私が担当するグラマーの授業は、生徒が自ら次の単元の内容を調べてくることから始まります。例えば、「動詞の使い方を調べてきてください」と伝え、次の授業では各々が「予備知識」を持って参加してくれます。初めこそ何を書いてきたらいいかわからない生徒もいましたが、今ではそれがルールとなり、私が説明を始める頃には、文法を学ぶ姿勢が整っています。その証拠に生徒の表情も生き生きとしています。受け身の姿勢からは何も生まれません。「受け身にならず主体的に学んでいく＝自分のために英語力をつける」との意識をもって取り組んでもらっています。

英語科主任 戸恒 和香子先生



既存の英語力をワンランク上のクオリティに高めています

英語教育に定評があることを聞き昌平を選びました。入学前から英語を習い英検準2級を取得していましたが、聞いたことのないフレーズや熟語がまだまだ多いところが気になっていたからです。1年生の時に先生から、反復練習をすることで記憶の定着がしやすくなることを教えてもらい、その効果で定期テストではほぼ満点を取り続けています。学校生活の中では外国人の先生方から声を掛けられることがよくあります。「朝食は何食べた?」「週末はどこに行った?」。そんな会話から始まる日々のコミュニケーションも楽しいです。中学卒業までに英検1級に挑戦できる態勢を整えるため、時事問題など幅広い知識の習得にも努めています。

中学3年生 (中高一貫14期生) 佐々木 海羽さん



持続可能な開発目標 社会とのつながりを 意識した学び

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。本校では開校以来、世界を意識し、世界を理解する力を身につけるための取り組みを様々な角度から進めてまいりました。校外学習、実験を中心とした体験型学習によって課題を発見し、問題解決のための企画を生徒自らが考え、奉仕活動を行い世界との関わりを考える学びを実践しています。



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

「世界」をテーマにしたグローバル教育の推進

世界を共通テーマにして、中学校の3年間取り組んでいきます。教員が一方的に教えるのではなく、生徒達が自ら課題を見つけて探究していくプログラムです。発展途上国について調べたり、地域の様々な問題に気づき、正解のない課題に取り組んでいきます。3年生になると自分の将来の夢をふまえ、自ら奉仕活動を考えて取り組みます。活動の中で困難に感じることもあります。それを乗り越えることでやりがいに気づくことができます。

校外学習、実験を中心とした体験型学習

大学研究室訪問から芸術鑑賞まで、多彩な体験学習が年間を通して予定されています。机上の学習では得られない感動を得られるとともに「調べる」「まとめる」「考察する」「発表する」「振り返る」といった学問の基本となる姿勢を身につけることができます。

世界を意識した体験型プログラム

TGG



JICA



新たな発見と感動を体験

体験型プログラム・校外学習

一日がかりで出かける校外学習は、学年ごとに異なるテーマを持ち、体験を学びへと深めていきます。例えば、模擬裁判という擬似体験を通じて、刑事裁判に関わる裁判官、検察官、弁護士、陪審員の役割を理解する体験型プログラムなどです。



鎌倉散策（6月）



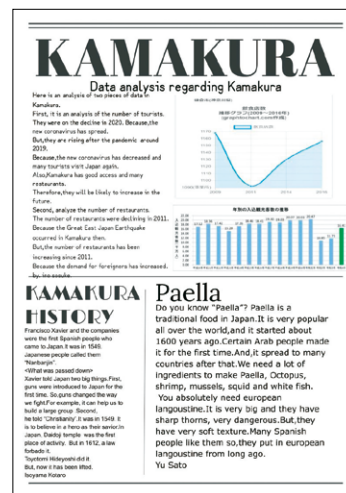
模擬裁判（7月）



そなエリア東京（2月）

体験した校外プログラムを記録に残し発表

班別研修で得た情報や体験をそれぞれが新聞形式やレポート形式で作成し、発表・掲示します。他の班から得た多くの情報も知識の源となります。



“自分の物差し”で物事を測れるグローバル人材に

SDGsを意識した学びに際し、私が最も意識しているのは、人種・民族・性別・宗教などを超越し、どこまでも“自分の物差し”で物事を判断してほしいということです。「型破り」という言葉がありますが、ただ闇雲に型を破るのではなく、説得力のある型破りも必要です。本校が用意する世界を意識した体験型プログラムや校外学習はすべて、生徒一人ひとりの独自性と説得力の高いところに視点を置いて展開しています。SDGsの目標は17ありますが、すべてを総合的にとらえる必要はなく、大事なことは、世界各地で起こっている様々な出来事から気になる点を自らフォーカスし、自分の物差しで測れることと考えています。

中学1年学年主任・芸術科主任 村上 一馬先生



持続可能な社会の実現のために学ぶべきヒントがあります

SDGsと社会のつながりを体験できるプログラムに校外学習があります。地場産業や観光施設の中にもサステナブルが息づく浅草では、日本の伝統芸能の一つである落語を堪能してきました。持続可能なまちの実現に取り組む鎌倉の街歩きでは、多言語で表記されたマップやリサイクルボックスの存在に着目しました。ユニクロとのコラボレーション企画“届けよう服のチカラ”プロジェクトを通して、世界とつながっている自分の存在に気づいたことも貴重な体験でした。持続可能な社会の実現のために、中学生の僕らが学ぶべきヒントが世の中に数多くあります。ただ頭で考えるだけでなく、実際に行動に移して学んでいくのも昌平の学びです。

中学3年生（中高一貫14期生） 片山 葉くん





進路指導

6年間一貫教育体制
昌平の学び

自ら学ぶ姿勢の獲得

「学ぶ楽しさ」を知るためには「基本的な生活習慣」を身につけることが不可欠です。体調が悪かったり気分が良くない時に楽しく感じることはないからです。楽しい時、面白い時、好きだなと感じる時、人は初めて能動的になれます。「学ぶ楽しさ」を知れば主体的に学ぶことができます。

中高一貫生の進路イメージ

中学 1～3年	IB (MYP) での、アクティブラーニング中心の学習によって ● 学問を吸収する器を広げ、学問探究へのモチベーションを高める。 ● 柔軟な思考力・表現力・発信力などを身につける。	
	従来型の授業にトレーニング的な要素も加え、知識などの確かな基礎学力を育成する。 進路目標や適性に合わせて、IB (DP) クラスに進むことができます。	
高校1年	特進コース 中高一貫クラス	IB コース IB (DP) クラス DP の準備 (英語強化など)
	文系 理系	DPカリキュラム (ディプロマ・プログラム)
高校2年		
高校3年	大学入試対策	DP 資格試験 (11月)
卒業後 目標	国公立大学 難関私立大学	海外大学 国内難関大学 IB 入試、総合型選抜・学校推薦型選抜入試を活用

高校進学後は、「特別進学コース」または「IB コース」で学びます

国公立大の受験科目を意識し教科バランスを考えたカリキュラム編成
IB教育で修得した中学3年間の学びを生かし、生徒一人ひとりの現役合格に向けてより実践的なカリキュラムが展開されます。
※IB コースへの入学は受験結果により認められます。



学習時間の確保

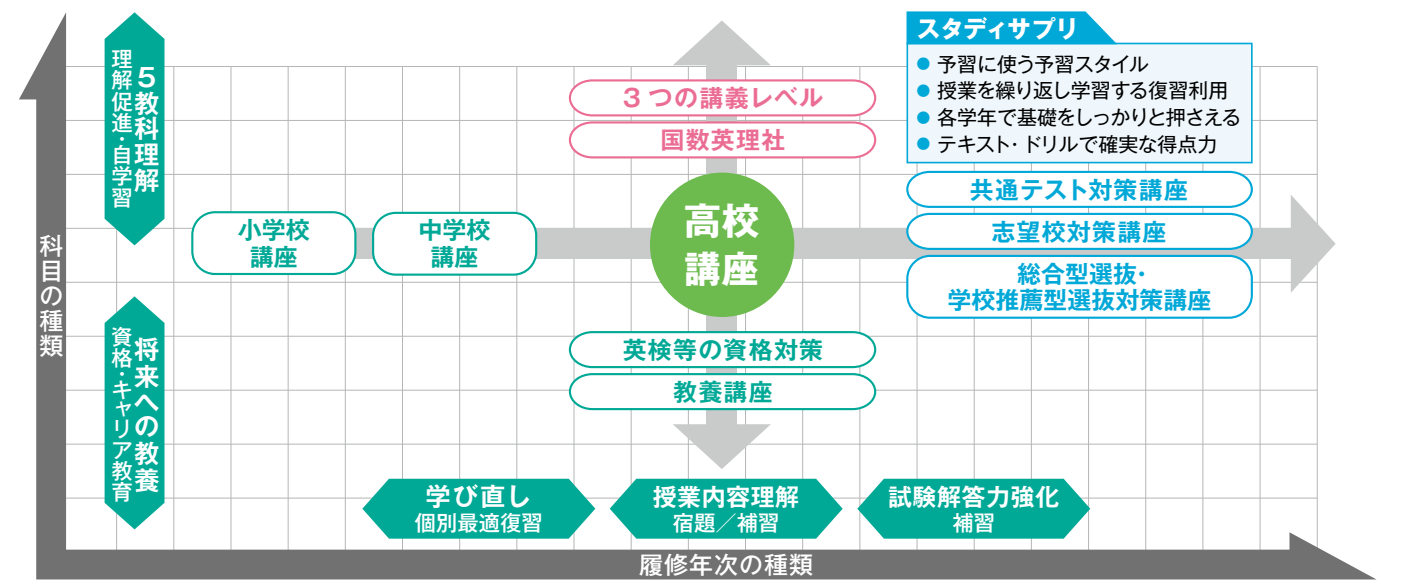
丁寧に教え、しっかりと定着させる授業を展開するために、公立中学校と比較して格段に多い授業時間数を確保。

- 授業時間数は合計34時間/週
- 2学期制移行により年間授業時間約130時間増加
- 平日は6時間授業を基本に、週2回(火・金)、8時間授業を実施
- 土曜日は講習、模擬試験、希望者対象行事などを実施
- 学習室(平日・土・日・祝日 開放)

スタディサプリ・スタディサプリ English(RECRUIT)

小・中学校の復習、予習から難関国公立大学対策まで

本校では、日頃の予習・復習学習や、長期休業中の家庭学習を励行しています。スタディサプリは、小・中学校の学習から大学受験レベルまで、約3,000本の講義動画を各家庭で視聴することができます。生徒個々の学習の進捗状況に応じて、レベルに合った講義を受講することができ、授業の予習に使う予習スタイル・授業を繰り返し復習する「反復学習」にも活用することができます。また、英検対策・英語4技能の講座が受講可能(スタディサプリ English)です。



(資料 RECRUIT/スタディサプリ)

勉強とサッカーの両立を基本に高い目標にも挑戦しています

医学を筆頭にバイオテクノロジーや生命科学にも興味があります。いずれも大きな覚悟のいる難しい進路ですが、その実現のために今、サッカー部の練習と勉強の両立に努めています。特に頑張っているのは生物と化学の先取り学習です。すでに数学は数Ⅲに入っています。部活は週3日で練習がある日は1時間、ない日は3時間くらい自宅で見機に向かい、休日は多い日で6～7時間集中して勉強するのが僕のリズムです。高1までに英検準1級を取得することと、ジュニア数学オリンピックの本選出場が当面の目標です。昨年は地区表彰に終わってしまった悔しさをばねに、より高みへと歩みを進めながら、大学進学からその先の未来を見つめています。

中学3年生(中高一貫14期生) 成田 康栄くん



全教員があらゆる面から、目標達成をサポートします

大学個別相談

毎年高校3年生を対象に大学個別相談会を実施します。千葉大、埼玉大、埼玉県立大、東京理科大、上智大、明治大、中央大、立教大、法政大、など約30校が来校します。

自学・自習室 ～卒業生が後輩へ学習指導～

トモノカイが管理する自学・自習室を設置しています。いつでも質問に応えられます。
本校の卒業生がチューターとして日曜または長期休業中でも生徒の質問に対応したり、単元別講座を開いたりして後輩へ学習指導をしています。



チューター紹介(昌平中・高卒業生)



渡辺 唯人さん
東京科学大学
工学院 情報通信系

受験生時代に自習室で勉強していて頻繁にチューターに質問していました。その場ですぐに疑問が解決できたので非常に助かっていました。現在は自分がチューターとして、教科質問だけでなく普段の勉強や進路の相談などを通じて自主学習のサポートをしています。わからないところがあったり、相談事があれば気軽に利用して欲しいです。



坪坂 梨衣奈さん
お茶の水女子大学
理学部 数学科

私が高校生のときに自習室は常に利用していましたが、勇気が出ずチューターの活用はあまりできていませんでした。同じような生徒さんのためにも気軽に接してもらえるような雰囲気作りを心がけています。微力ながらみなさんの学力向上や相談にも精一杯尽力させていただきますので、是非積極的にご利用ください。



矢内 大雅さん
東京大学 大学院
バイオエンジニアリング
専攻

チューターはただ解き方を教えるのではなく、そのような時にヒントを与えて自力で考えられるよう手助けする存在です。自分自身が受験生の頃の体験も大切にしています。進路相談から大学生活についての話も気軽に聞けるような環境づくりを目指していますので、積極的に利用してもらえたら嬉しいです。一緒に後輩をサポートしていく仲間が増えることも楽しみです。

令和7年 昌平高等学校 大学合格実績

東京大学合格 5名 | 文科三類 2名 | 理科二類 3名 |

最難関国立大(東大、京大、東京科学大(旧東工大)、旧帝大) 15名合格

東京大学5名・京都大学1名・東京科学大学2名・北海道大学2名・東北大学3名・名古屋大学2名・
東京外国語大学3名・横浜国立大学5名・筑波大学4名・千葉大学1名・東京都立大学3名・東京学芸大学2名・
岡山大学1名・金沢大学1名・埼玉大学7名・群馬大学1名・熊本大学1名・信州大学2名・宇都宮大学11名・
秋田大学3名・埼玉県立大学2名・防衛医科大学校2名・防衛大学校1名
その他多数

国公立大学 計 81名合格 (現役73名)

早慶上理 98名合格 (現役87名)
早稲田大30名・慶應義塾大14名・上智大14名・東京理科大40名

G-MARCH 193名合格 (現役183名)
明治大37名・青山学院大21名・立教大44名・中央大29名・法政大45名・学習院大17名

医学部医学科 9名合格 (現役6名)
熊本大1名・群馬大1名・新潟大1名・秋田大1名・北里大1名・日本大1名・帝京大1名・防衛医科大2名

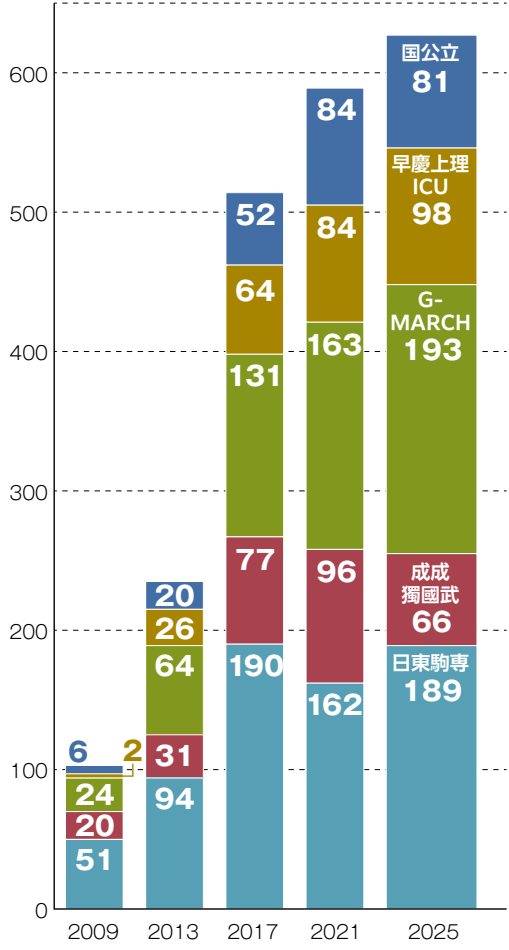
薬学部 37名合格 (現役37名)
東京理科大2名・星薬科大1名・その他私大(薬)34名

過去4年 主な合格実績推移

大学	令和7年		令和6年		令和5年		令和4年	
	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役
東京大学	5	3	1	1			2	2
東京科学大学	2	1	3	2	2	2	2	2
一橋大学			1	1	1	1	1	
北海道大学	2	2	2		2	1	1	1
東北大学	3	3	1		1	1	4	3
お茶の水女子大学			2	2	3	3	4	4
筑波大学	4	4	9	9	10	10	9	9
千葉大学	1		3	2	4	4	3	3
埼玉大学	7	7	7	7	7	6	5	5
群馬大学	1	1	3	3	5	5	6	6
茨城大学			2	2	4	4	1	1
岡山大学	1	1	1	1	2	1		
横浜市立大学	5	4			2	2	2	2
信州大学	2	2	1	1	3	2		
その他国公立大学	48	45	42	39	23	19	61	57

大学	令和7年		令和6年		令和5年		令和4年	
	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役
早稲田大学	30	28	11	7	19	15	22	18
慶應義塾大学	14	9	6	2	7	6	4	3
上智大学	14	14	17	15	7	7	7	7
東京理科大学	40	36	22	16	48	44	47	41
学習院大学	17	17	24	22	19	19	25	22
明治大学	37	36	44	39	28	23	55	43
青山学院大学	21	21	18	17	19	15	6	6
立教大学	44	44	47	46	27	25	45	35
中央大学	29	22	32	25	36	25	42	34
法政大学	45	43	34	32	41	37	63	57
成蹊大学	9	9	11	11	14	10	19	19
成城大学	2	2	18	18	16	10	14	13
獨協大学	23	23	55	54	33	33	47	44
國學院大學	10	10	19	18	19	17	12	12
その他私立大学	660	655	632	601	639	625	792	771

主要大学合格者数 過年度比較(4年毎)





東京大学
文科三類
井出 匠さん
中高一貫10期生

兄たちも通っていた昌平へ。
英語教育に定評ある昌平へ。

井出 教育熱が高い両親が勧めてくれたのが昌平でした。僕は高校受験がない方が大学受験に有利なのではと考えて、納得して受験しました。

天内 “親の教育熱”という点では僕も一緒です。ちょうど姉が昌平高校に入るタイミングで、一緒に学校見学に行き設備の充実ぶりにも魅力を感じました。

天野 私の場合は自転車通学が可能だったこと、中学入学から高校卒業までの成績の上昇率が、他校と比較して高かったことが理由でした。

春山 4つ違いの兄が昌平の一貫6期生でした。兄から海外研修の話を聞くのも楽しく、時には自宅で姉妹校の留学生がホームステイするなど、わが家と「昌平」は密接な関係にありました。

半澤 私にも3つ違いの兄がいて中高一貫生でした。兄と一緒に『昌平祭』に行き、生徒が本当に生き生きとしている姿に憧れました。

小坪 私の兄も昌平高校に通っていてサッカー部でした。兄が通っている学校ということで親しみを感じていましたし、英検にも積極的に挑戦したかったのが昌平一択でした。

齊藤(充) 英語といえば、僕が昌平に決めた大きな理由も英語教育でした。小学生の時に英語塾に通っていて、「英語＝昌平」というイメージはずっとありました。



名古屋大学
農学部
応用生命科学科
小坪 香凛さん
中高一貫10期生

東田 僕もキーワードは英語でした。小6の夏までカナダにいたので、英語力を落とさない指導環境がある昌平を選びました。帰国子女入試が英語だけという点も有利でした。

斎藤(桂) 中学受験で昌平を選択したのは、IB教育が自分に向いていると思ったからです。特にIBが求める学習者像に着目しました。

加賀谷 私は沖縄の宮古島から昌平に来ました。昌平は母の実家に近く、やはり英語教育に力を入れていることを聞いたことが中学受験の動機でした。島には電車がなかったので、校外学習などで電車に乗る機会がとても新鮮でした(笑)。



東京大学
理科二類
斎藤 桂吾さん
中高一貫10期生

環境がやる気になる原動力。
仲良しだからこそ負けられない。

斎藤(桂) 入学直後に春季課題考査というテストがあり、成績がまったく振るいませんでした。普通に衝撃を受けて、勉強しないとまずいかもしれないと、そこからやる気に火が付いた感じでした。

半澤 春季課題考査、ありましたね。誰が一番勉強できて、上位層には誰々がいて…、という上位者の順位が張り出されるので、「自分もそこに入りたい」と、そんなモチベーションになりました。定期テストの結果も常にオープンなので、気を抜いてはいられないぞと、そんなふうに思いながら頑張っていました。

井出 クラスに超優秀な人がいて、入学したばかりなのに“体系数学を終わらせた”というのです。その一言に危機を感じて、負けず嫌いの自分もそこから真剣に勉強を始めました。

齊藤(充) 先取りということという、自分の場合、高校数学がすべて終わったのが中3の初めでした。個人差は当然ありますが、クラスの雰囲気がそうさせたということは絶対にあったと思います。

東田 一貫生は6年間一緒にいることもあり、



東北大学
工学部
電気情報物理学科
春山 麗さん
中高一貫10期生

いい意味で本当のライバル関係であり、逆になんでも言い合える関係でもあるので、お互いを尊敬し合って頑張れるのではないのでしょうか。共通テストの模試が終わるとすぐ、みんなで自己採点していたのが仲のいい証明です。

加賀谷 確かに(笑)。一貫生の仲は総じていいものがあると、私も思います。IBの授業ではグループワークが多いこともあり、入学してすぐにたくさんの友人ができたことは、遠くから来た私にとってとてもありがたかったです。

天野 誰かが模試でいい成績を収めたり、難しい資格に合格したりすると、クラス全体で称えていました。お互いを尊重し合うクラスで居心地も良かったです。

天内 7限、8限の授業が普通にあるので、そこで徹底して補講をやってもらったのが、自分にとっては追い風になりました。「中学時代から補講によって苦手をつくらない」という先生方の指導に感謝しています。

春山 小学生の頃は、勉強で切磋琢磨できる友だちはあまりいませんでしたが、昌平に入る



京都大学
工学部理工学科
天野 恵実さん
中高一貫10期生

と“意識高い子”がたくさんいるので、勉強にやる気が出てきました。担任の先生による“成績の見える化”もあり、“今度のテストでどのくらいの点数を取れば上位に居続けられるか”とか、積極的に競争心がおおられて、頑張れたかなと思っています。

小坪 先生方の温かみのある“熱血指導”は、私も強く感じていました。なにしろ中1の林間学校でいきなり、英語の小テストがあるのですから(笑)。そのおかげもあり、高3で新しい単語を覚える必要がなくなっていました。



早稲田大学
文学部文学科
加賀谷 ななみさん
中高一貫10期生

一人ひとりをよく知る先生方。
だからこそ最後まで諦めない。

半澤 私は中1から6年間、生物・化学部で活動を続けました。地道な研究の日々でしたが、先生方がそんな私をずっと応援してくれました。高校生でボスター賞を受賞した時は嬉しかったですね。将来は理科教育に携わりたいと考えるに至ったきっかけもそこにありました。

加賀谷 私の場合はダンス部の活動が原点になりました。高2で『トビタテ!留学JAPAN』という返済不要の奨学制度の選考に受かり、アメリカにダンス留学(ロサンゼルス)することもできました。大学を選ぶ時も、大好きなダンスと得意な英語を生かせる進路選択をしました。

小坪 共通テストの手ごたえがあまりよくなかったので、すぐに頭を切り替え、今後の“伸び”を信じて翌朝6:30に学校に行きました。すると自習室にはもっと早くから来て勉強をしている受験生がいたのです。「これが昌平なんだ」と思って刺激を受け、「ここで負けたら絶対に悔やむ」と思ってリベンジを果たしました。

春山 私はもともと文系志望でしたが、物理の先生からある日、「きみなら物理の世界でやっていける」といわれ、そこから理系に舵を切りました。コミュニティ・プロジェクトで歯科医療に関わり、医療用の工学をめざす学部・学科を



新潟大学
医学部
天内 大翔さん
中高一貫10期生

考える大きなきっかけになりました。

天内 医学の道に進もうと思ったのは高1の時でした。数学の先生が授業中、医師の話をしょっちゅうしていたので、自然と感化されたと思います(笑)。合格後、その第一報を数学の先生に報告したところ、「僕の方がドキドキしていたよ」といわれました(笑)。

東田 高校からの文理選択で迷いましたが、「プラス思考で考えよう」と、背中を押してくれたのが担任でした。消去法による進路選択でなく、自分のやりたいことのために東大現役合格を勝ち取るという考え方です。その力強い励ましが、東大現役合格に結びついたといっても過言ではありません。

齊藤(充) 数学が得意でずっと理系一本でした。コミュニティ・プロジェクトで、地球温暖化を深刻な地球の問題と捉えたところから、環境社会理工学科への挑戦が始まりました。総合型選抜は不合格でしたが、担任から「一般選抜もあるから大丈夫」と、最後まで励ましてもらったことに感謝しています。



筑波大学
生命環境学部
生物学類
半澤 伶奈さん
中高一貫10期生



東京科学大学
環境社会学部
齊藤 充孝さん
中高一貫10期生

井出 もともと読書が好きで、文学の道に進むことが希望でした。担任も無類の本好きで、太宰治や村上春樹など、著作を読んでは読書感想文を書いて出し、その返信に書いてあるコメントを読んでは、読書談義できる日々を楽しんでいました。社会歴史研究部で読み深めた地域の古文書研究も楽しかったです。「もう東大しかないでしょ」と複数の先生方に声を掛けられ、その想いに報いたいと思いました。

天野 高3のときの学科選びで、材料科学系か物理学的な内容かで迷っていました。そんな私の進路として環境が整っていたのが京都大学の物理工学科でした。先生方が過去問を印刷・添削してサポートしてくれたことに感謝しています。

斎藤(桂) 入学時から航空と宇宙、その2つが興味範囲でした。高2になると、量子力学の世界にも興味が広がり、どれか一つに決めることができなくなっていました。大学受験時から学部・学科を決めるのではなく、前期2年が教養学部で幅広く学べる東大がいいと、必然的に絞り込んだのが高2の夏でした。自分が本当に進むべき道に誘ってくれた、昌平の先生方に感謝しています。



東京大学
理科二類
東田 直樹さん
中高一貫10期生

CONVERSATION

卒業生を迎えて
(令和6年卒)

一つの道を究めていく自分であり続けたい



純粋数学の中の代数幾何について研究を続けています。とはいっても初めから数学が得意だったわけではなく、国語や歴史が好きでした。そんな私に、数学のおもしろさを教えてくれたのは昌平の数学の先生方です。答えを導き出すプロセスが、好きなディベートと重なる点に気づいたのも興味深い点でした。自分と先生の異なる考え方を議論という場に昇華させ、双方納得いくまで対論する時間は貴重なものでした。予備校に一度も通うこと

東京大学大学院
数理科学研究科 数理科学専攻在学中
京都大学 理学部卒業

軽部 友裕さん
2期生 (平成29年卒)

なく、常に先生と一緒に好きなことを追いかけることに感謝しています。私には今、海外の研究集会に参加する機会があります。世界各国の数学者と出会うことができるというある種のときめきは、どこか中高時代のホームステイ経験とも似ているものです。これからも新たな出会いを自身のキャリアデザインと融合させながら、一つの道を究めていく自分であり続けたいと思っています。

きっかけは廊下に貼り出されたポスターから



で生物学を学んだ私は今、大学院生となり憧れの理研で研究できる環境の中に身を置いています。テーマは神経生理学で、脳脊髄液など脳内にある“水”の流れから、アルツハイマー病などの発生要因を分析しています。このままアカデミアで進むのか、民間企業の研究者としての道を歩むのか、選択肢は複数ありますが、自らの研究を社会でどう役立てていくのか、じっくり考えていきたいです。

郷間 葵さん
2期生 (平成29年卒)

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 生命科学コース在学中
お茶の水女子大学 理学部2類 生物学科卒業

中学生のある日、廊下に理化学研究所(理研)のポスターが貼り出されました。研究室の一般公開の告知でした。興味を抱いて参加しましたが、豊富な知識を身につけた研究者の言葉に感銘を受け、見たことのない機器や設備が揃う空間に魅了され、自分もこんな場所で研究したいと思ったのが今の私の原点です。以来、本当に勉強だけに集中できる環境を先生方が提供してくださり、「女子大」という選択肢を薦めてくださったのも先生方でした。大学

次世代のために役立つ施策の実現に努める



持続可能な社会を創る一助になりたい、次世代の代弁者として尽力したいと、そんな未来を思い描いていた私にとって、財務省が掲げる組織理念『国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。』は魅力あるものでした。理念に共感して入省した一人として今、大きな使命を感じて働いています。中学の思い出の一つが、毎朝10分の朝読書です。読書好きな友人に刺激を受けて本を読むようになり、いつしか互いに好きな本を交換

財務省勤務
東京大学 経済学部卒業

樫村 周さん
3期生 (平成30年卒)

して読み合う仲になりました。そのようにしっかりと“読み込んだ”経験が、読解力につながり、文章の表現力につながったという手ごたえがあります。中学の3年間、かなり本を読んだ記憶がありますが、そのような読書習慣が、大学生になっても、社会人になっても、生きる上での確かな基盤になっていたことは間違いありません。これから次世代のために役立つ施策の実現に努めてまいります。

植村 直紀さん
3期生 (平成30年卒)

中外製薬株式会社勤務
横浜市立大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科卒業

私が高3の頃、世の中に「データサイエンス」「ビッグデータ」という言葉が流行り出しました。もともとプログラミングに興味があった私ですが、未知なる道の中に自分の進むべき軌道を見つけた瞬間といっても過言ではありません。そういえば中学のプロジェクト学習(現SDGs)の時間に、自分の将来についてじっくり考えた時間がありました。中学生の私にとって、仕事と社会貢献を同時に考えることは決して簡単ではありませんでしたが、そういった

土台があったからこそ、大学進学時に迷わなかったのではないのでしょうか。大学院では生物統計学という、統計学を医学分野に応用した学問領域を研究しました。研究の経験を生かし、この春から中外製薬に入社しました。今後は生物統計の専門家として、患者中心の想いを忘れず誠実な仕事をしたいと思っています。



未知なる道に進むべき軌道を見つけた瞬間

先生方と共に“昌平を作って”きた2期生の誇り



帰国子女枠で入学して以来、どの先生というよりも、すべての先生に面倒を見ていただいたというのが実感です。私たちは開校から間もない2期生ということもあり、先生方と共に昌平中学を作ってきたという誇りもあります。先生方はとにかく生徒一人ひとりの考え方を尊重し、何をいっても絶対に否定されることはありませんでした。そんな距離感の近さがたまたま好きで、つつい職員室を訪ねては、先生方と一緒にのを楽しむ私になっていました。

味の素株式会社勤務
一橋大学 社会学部卒業

瀬田 奈々さん
2期生 (平成29年卒)

思い出深いのは校外学習の数々です。古墳に行ったり、大使館を訪ねたりと、自分の目で見て、社会に触れて、リアルに世の中を学んだ経験はとても貴重でした。中高時代はダンス部、大学ではチアができる応援部に入りましたが、「人を笑顔にしたい」という想いはどちらも共通しています。今は食品という人々に愛されるフィールドを通して、世界中の笑顔を支える仕事をしています。

小関 龍明さん
2期生 (平成29年卒)

海上保安庁勤務 管制官

「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」は永遠の指針

中学・高校の6年間、集団スポーツのおもしろさ、すばらしさに目覚めてラグビーに夢中でした。在校中は県2位、準優勝が最高位でした。ただ私たちの1学年下の代から花園に行くようになり、悔しさ以上にそのベースを作ることができたという充実感もありました。学年が上がり初めて後輩を教える立場になった時、ラグビー部の監督からよくいわれた言葉は、「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」でした。異学年が心をつなぐラグビーと向き合っていく中で、

その金言はやがて私の生き方とリンクするものになっていきました。母の願いでもあった海上保安庁への道を選んだ際、集団スポーツの中で培われた経験を発揮できると考えた自分がいました。今いる職場も基本、集団で行動します。後輩もたくさんいる中で思うのは、やはり「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」です。人生で一番成長できた6年間に感謝しています。



刺激のある環境に身を置いて成長できた6年間



英語圏からの帰国子女の私にとって、英語教育と国際教育に力を入れている昌平の学校生活は居心地の良いものでした。英語力を“生きたままの状態”で残してくれ、プラスアルファでさらに伸ばしてくれた環境に、とても感謝しています。そもそも昌平が求めるレベルは高いです。課題も多い学校ですが、なぜか先生方は「これ明日までね」と、普通の顔でいいます(笑)。ハイレベルな課題をこなすため、自ずと自分の中でしっかりと計画を立てるように

なり、すべてやり切れたという経験は、社会人となった今でも生かされています。「基礎があれば応用できる」。どの先生からもいわれたアドバイスを実感する日々です。自分よりもすごい人が周りにいる環境を求め、今の職場に入りました。現在は広報として、会社やサービスの魅力を社外に伝える役割を担っています。日々の発信や社内外とのコミュニケーションを通じて、企業価値を高めることにやりがいを感じています。

楽天グループ株式会社勤務
上智大学 外国語学部 英語学科卒業

大堀 桃花さん
3期生 (平成30年卒)

吉田 莉々さん
5期生 (令和2年卒)

東京大学大学院
総合文化研究科 国際社会科学専攻 国際関係論コース 修士課程在学中

生徒にやる気があれば、それに対してきちんと応えてくれる環境が昌平にあります。生徒会もチアも全力でやり、そのうえで「東大に行きます!」と、発信した私を受け止めてくれたのも先生方でした。大学で国際関係論を専攻する私は、イランのインターナショナルスクール出身ということもあり、国際社会におけるさまざまな出来事に関心を持っています。とはいっても、自分の好きなことをカタチにするのは決して容易ではありません。中高時代

の6年間に、どれだけのエネルギーを自分の中に蓄積できるかが問われるからです。仮にエネルギーが不足すれば、なんとなく4年間が終わってしまうかもしれません。私の場合は多様なエネルギー体験を“好きのチカラ”に変えて、エネルギーとして蓄えることができました。それを支えてくれたのは面倒臭い良い先生方です。大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝しています。



大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝

GRADUATES

卒業生からのメッセージ

手をかけ 鍛えて 送り出す



本当のコミュニケーション力の育成

～知識と実践の融合～

言語を習得するためには、24時間の生活の中でその言語を使う時間を増やす必要があります。授業だけで知識を頭の中に残すことができても、せっかく身につけたものを「使う」ことをしないとその知識は頭の中で徐々に消えてしまうのです。努力して身につけた知識を無駄にしないために、昌平中では日常生活の中で英語を使う機会がたくさんあります。また、「英語G(文のルールを学ぶ)＝知識」と「英語R(IB)＝実践」の授業があります。常に文だけを見るのではなく、そこに書かれていることをイメージすることが英語を使えるようになるためには大切です。

今、世界で必要とされるのは「コミュニケーション力」を持っている人材です。「コミュニケーション力」とは何でしょうか？これから世界で活躍する皆さんが間違った英語を堂々と話すことはとても恥ずかしいことです。正しい英語を身につけてこそ、世界中の人々に自分の考えを伝えたり、人の考えを正確に受け取ったりすることができます。そのやりとりが「本当のコミュニケーション力」なのです。

入学してくる生徒はほとんどが小学校の授業で英語をやっただけの人です。むしろ、最初の1歩からきちんと英語を学んでいく方法を身につけることができます。目標を持ち、努力をしている昌平中の生徒達の表情は、生き生きと自信に満ち溢れています。そして楽しそうです。これこそが英語学習の目指すところと言えます。

ENGLISH 英語

論理的思考力・表現力の確立

たとえば、山を見たら春でも夏でも「きれいだ」としか言えない人と、「山(が)笑う」「山滴(したた)る」という言葉を知っている人とは、同じ山を見ていても見える景色がまったく違います。「豊か」という言葉を使うなら、どちらの景色がより豊かか、言うまでもないでしょう。豊かに言葉を知ると、そうでない人と、同じことが人生についても言えます。もちろん、言葉の豊かさは数だけではありません。言葉は、確かにコミュニケーションの手段ですが、それ以上にその人のものの考え方やとらえ方を決める重要なものです。特に母語、今これを読む多くの人にとっての日本語、教科としては国語、それは皆さんの考える力、ものを見る力を支える大切なものです。私たちはそのことを念頭に国語の指導にあたっています。

まずはさまざまな文章に触れ、そこに表現された世界を正しく受け取る力を養います。身体は現実の制約を受けますが、言葉は時空を超え、実に多様な世界を見せてくれます。読書を大いに推奨します。そして、感じ考えたことを表現してみることです。効果的に表現する力を養いましょう。

表現しようとすることで考えがまとまることもよくあります。昌平では、他校にはないIBに基づく論述や発表のほか、ディベートやビブリオバトル(書評合戦)等の言語活動を活発に行います。漢字や語句の小テストはもちろん、大学受験に必要な古典分野も中学3年までに高校1年程度まで行います。様々な社会的・文化的事象への興味関心、論理的思考力、豊かな感情、表現力、正しい言語知識。要求されることはたくさんですが、それらは他ならぬあなたの人生を彩りのあるものにきっとしてくれます。豊かな学びをしましょう。

JAPANESE 国語



学びの極意 ～考え・楽しむ力の育成～

数学嫌いをなくし、好きになってもらう。さらに得意科目になるように、分かりやすく興味を持てる授業を展開します。生徒一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかな指導、実践的な演習問題を中心に、しっかりと基礎力を養成。中学3年の段階から高校の教科書の内容を積極的に取り入れていきます。誰が解いてもちゃんとした手順を踏めば理に適った結果が必ず得られ、かつ多くの事柄の確認が紙と鉛筆だけでできる面白さにあふれた教科、それが数学です。

そうした教科の特性を生かし、「こういう考え方をするとこうなる」「こんな工夫もできるんだ」と考えて勉強を楽しむ力を養ってほしいと考えています。また「何故そうなるのか？」が相手に伝わる形で記述することが伝える力にもつながります。

数学 MATHEMATICS

暗記や詰め込みにならない、 実生活に繋がる学習をします

理科は、「私たちの身近にある科学」を学ぶ教科です。ですから、学習内容に対する興味・関心こそが勉強する原動力になります。従って、中学では教室での授業だけではなく、実験や観察、自然に触れる機会を多く取り入れ、理科に対する興味関心の芽を育むことを重視しています。

特に実験においては、単に現象を観察するだけではなく、学年が上がるに従って、予想や仮説に基づいた実験の組み立てや、レポートの書き方といった指導も行っていきます。知識の詰め込みによる暗記科目にすることなく、興味関心を持たせ、現象やしくみを理解することを重視しています。

理科 SCIENCE



自分の目で社会を見る姿勢を育てる

「世界」について考えるとき、あなたはどのような世界を想像するでしょうか。一言で世界と言っても、その捉え方は様々です。日本から見た世界、地図として捉える世界、一つの地球としての世界。どの視点から世界を見るのかによって、得られる情報は大きく異なります。しかし、その情報はどれも間違いではなく、それらを正しく認識し、受け入れる姿勢が重要となります。

本校の社会科は、「自分の目で社会を見る姿勢を育てる」ことを目的とした授業を行います。授業では、分析の際に必要な知識を習得することを第一に、時事問題など身近なテーマを取り上げていきます。その際、自分の中に生じた「なぜそうなるか」という疑問について考えることで思考力を育て、意見をまとめ表現することを促します。そして、仲間と議論をし、理解を深めていく中で、問題解決能力を身につけることを目指します。

社会 SOCIAL STUDIES



TEACHERS [各教科からの
メッセージ]



8:20

登校

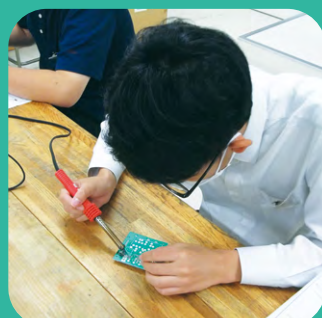
中学校専用のスクールバスが久喜駅、杉戸高野台駅から運行しています。学校まで直通なのでアクセスは抜群です。自宅が近い生徒は自転車通学もできます。



8:40

始業時間

朝読書は始業前10分の時間を使って、自分の好きな本を思い思いに読みます。毎日習慣づけることで、集中力、読み書きの能力、語彙力が身に付きます。



8:55

第1時限目「技術」

エネルギー変換の授業の中で、限りある資源の大切さを学びます。持続可能な太陽光エネルギー・手動発電によるダイナモワイヤレスラジオを製作します。



9:55

第2時限目「数学」

授業では、先生にただ教えてもらうだけでなく、グループや個人で考えることが多く、考える力が身に付きます。また、自分で問題を作ったり、解き方を説明します。



10:55

第3時限目「国語」

国語は「演習」の授業でした。演習では正しい国語の知識や読解を身につけます。普段の自分の読解や語彙の選択が厳密でないことに気付かれます。



11:55

第4時限目「英語R」

IBプログラムを用いたこの授業では生徒は様々なテーマについて探究し、自分の英語で考えを表現する活動を行います。



12:45

ランチタイム

お弁当を持参する生徒がほとんどですが、売店でもお弁当やパンを買うことができます。



13:30

第5時限目「体育」

午後の体育。本校の体育は人工芝の広いグラウンド、体育館、サブアリーナの各施設で様々な種目を思いっきり学び、楽しむことができます。



14:30

第6時限目「社会」

その土地の産業や特色などをレポートにまとめ、クラスメイトに配り、発表をします。その後の質問に備え、不足のないレポートを作成し、的確な返答を心がけます。



15:45

放課後

放課後はそれぞれの活動場所へ。人工芝のグラウンドでのサッカーをはじめ、体育館、サブアリーナ、理科室、日本語禁止部屋などで多くの生徒が活動しています。



17:55

最終下校

最終下校は17:55です。スクールバスで久喜駅、杉戸高野台駅へ向います。友達と話しながらの下校。昌平の友達は「言いたいことが言える」仲間です。

TIMETABLE

	月・水・木(50分)	火・金(45分)	土曜講習(60分)
朝読書	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	
SHR	8:40 ~ 8:50	8:40 ~ 8:45	—
第1時限目	8:55 ~ 9:45	8:50 ~ 9:35	8:40 ~ 9:40
第2時限目	9:55 ~ 10:45	9:45 ~ 10:30	9:50 ~ 10:50
第3時限目	10:55 ~ 11:45	10:40 ~ 11:25	11:00 ~ 12:00
第4時限目	11:55 ~ 12:45	11:35 ~ 12:20	
昼休み	12:45 ~ 13:30	12:20 ~ 13:05	
第5時限目	13:30 ~ 14:20	13:05 ~ 13:50	
第6時限目	14:30 ~ 15:20	14:00 ~ 14:45	
第7時限目		14:55 ~ 15:40	
第8時限目	放課後	15:50 ~ 16:35	
		放課後	

大きな可能性にチャレンジする部活動

CLUBS



運動部

- サッカー部(男子)
- バスケットボール部
- 陸上部
- 硬式テニス部

- バドミントン部(女子)
- ダンス部
- ラグビー部
- 剣道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- パソコン部
- 鉄道研究同好会

- ESS部
- 華道部
- 社会歴史研究部
- 茶道部

- 書道部
- 生物・化学部
- 写真部
- 菓子研究部

- 囲碁・将棋部
- 英語学習クラブ
- イラスト文芸同好会
- クイズ研究部

POINT

ima mirai 手帳

~自己管理能力を育み、自ら学び、考え、行動できる人づくり~

自らの行動に対して常に振り返り、改善して行動できる姿勢を養成します。今日することを自ら記入し、確認することで、「書く能力の伸長」・「規則正しい生活習慣の確立」・「自発的な家庭学習の定着」を涵養します。また、毎日の提出で担任よりアドバイスをもらい、「つまずきの早期発見」「次の指針の設定」を見つけ出すことができます。



SCHOOL LIFE [昌平の一日]

2026年度より2学期制導入することにより、さらに十分な授業時間を確保するとともに、探究的学びを深めます

4

APRIL

- 入学式
- 始業式
- 対面式
- 体力測定
- 定期検診
- 校外模試
- 課題考査



5

MAY

- 前期生徒総会
- 体育祭
- 校外学習
- 林間学校(1年)



6

JUNE

- 第1回英語検定
- 中間考査



7

JULY

- 夏期講習
- プリティッシュヒルズ語学研修(2年)
- 三者面談
- ボキャブラリーコンテスト

8

AUGUST

- 海外研修(希望者)
- ハーバード・サマースクール in SHOHEI
- 学習合宿(3年希望者)
- 夏期講習



9

SEPTEMBER

- 昌平祭
- 英語レシテーションコンテスト
- 避難訓練



10

OCTOBER

- 期末考査
- 終業式
- 始業式
- プリティッシュヒルズ語学研修(希望者)
- 第2回英語検定
- 後期生徒総会
- 授業参観

11

NOVEMBER

- プリティッシュヒルズ語学研修(1年)



12

DECEMBER

- 中間考査
- 球技大会
- GTEC
- ボキャブラリーコンテスト



1

JANUARY

- 校外模試
- 第3回英語検定



2

FEBRUARY

- 合唱コンクール
- スキー教室(2年)
- 海外修学旅行(3年)



3

MARCH

- 学年末考査
- 芸術鑑賞会
- コミュニティープロジェクト発表会(3年)
- 修了式
- 卒業式(3年)
- ボキャブラリーコンテスト



POINT プロセスジャーナル

校外学習など体験型プログラムを経験しノートに書き記すという取り組みです。林間学校で書き方などを学習し、一人ひとりがオリジナリティあふれるページを作成します。様々な行事や体験を書き記し、「調べる⇒記録する⇒振り返る」を継続することによって、生徒個々で、「自己の進歩」を確認することができます。



クラス間で競う伝統の『昌平よさこい踊り』が今、熱いです

人気がある『体育祭』の競技・種目の中でも特に私のお気に入り、近年の伝統になりつつある『昌平よさこい踊り』です。クラス単位で競い合うもので、踊りは一緒にクラスそれぞれのよさこい踊りが登場します。昨年から踊りの隊形を各クラスで考えるように進化し、その構成力も評価対象に加まりました。一方、体育祭と並ぶ二大行事の一つが『昌平祭』です。憧れのロールモデルがたくさんいる高校生との触れ合いも楽しく貴重です。パスポートなしで“入国”できる宿泊型の国内留学『BritishHills』もおススメです。ネイティブスピーカーと過ごす英語漬けの2泊3日です。最初は不安で緊張もありますが、自然と生きた英語力が身につきます。

中学3年生(中高一貫14期生) 岩瀬 寧彩さん



SCHOOL LIFE [年間行事]



SCHOOL FACILITY [施設設備]



WINTER

フォーマル

男女共冬服は格調高い2ボタンのスーツスタイル。色は落ち着いたあるチャコールグレーです。ネクタイは、スクールカラーを基調とした落ち着いたあるグリーンです。女子はスラックス・スタイルもあります。



SUMMER

フォーマル

通気性に富んだワイシャツとブラウス。女子にはライトグレーのベストとおしゃれで清楚なチェックスカートが用意されています。女子はスラックス・スタイルもあります。



POLO SHIRT

ポロシャツ

ボタンダウンで襟元もきっちりしたスタイルです。袖にはオリジナルの刺繍が入ります。生地は、吸汗速乾機能で汗をかく夏場でも快適に着用できます。



COAT

コート

ピーコートタイプのコート。すっきりしたシルエットとクラシカルなボタンが特徴です。



GYM CLOTHES

スポーツウェア

全体的にグレーでまとめられたスポーツウェアはスタイリッシュなデザインです。半袖・半ズボンに吸汗速乾素材でさらっと着用でき、1年を通して快適です。

SCHOOL UNIFORM [制 服]



MESSAGE

校長 村田 貴也

「将来の夢は!」と聞かれたとき、あなたはどのように答えますか。学校はお互いの夢を語る場であるべきだと私は常々考えています。中学と高校の6年間は、心身ともに大きく成長する時期であり、大きな夢を抱いて純粋にその実現に向かって努力できる、一生の中でも大きな機会でもあります。

昌平中学はIB(MYP)教育[International Baccalaureate(Middle Years Programme)]を導入しており、自ら考え行動できる国際的な視野を持つ人材の育成に力を入れています。また、PEP[Power English Project]と称して、生徒達の英語力強化に全ての教員が関わり、世界で活躍できる人材を育てることを目指して

います。これらの取り組みは、皆さんが抱く夢を実現するために必要なスキルを身に付ける手助けになると確信しています。

学校は人を育てる機関です。人を育てるとは、卒業後20年・30年と年を重ねた時に、自分の人生が輝いていると感じられるように、その礎を学校でしっかり築かすことだと考えます。

さあ、皆さん。これから自分の人生をデザインしましょう。ワクワクしてきませんか。昌平中学校でお待ちしております。